

社内システム災害対策支援 導入事例

社内システムを安全環境へ

ー社内システムクラウド移設サービスー

プライベート
クラウド

仮想化支援

I社

【本社：神奈川県、事業内容：IT関連、従業員：180名、拠点：本社・大阪・名古屋】

災害を想定し、社内システムをプライベートクラウドへ

導入の背景

導入前の課題と検討理由

- ・川崎本社内に顧客向けサービスおよび社内システムを運用していたが、震災後、計画停電の対象地域となっており、日によって数時間、顧客向けのシステムを停止することになり、サービス継続が出来なかった。
- ・地方拠点から本社システムに集中を行っていたため、社内業務において地方拠点の業務も停止してしまった。
- ・この機会に、停電対策だけでなく、あらゆる災害を想定し、早急にシステムを安全な環境へ退避させたかった。
- ・電量不足の恐れがある夏に向けての停電対策も必要だった。

お客様の選択肢

1. 大阪の拠点があるため、東京・大阪の冗長化体制
2. データセンター 又は クラウドへの移設

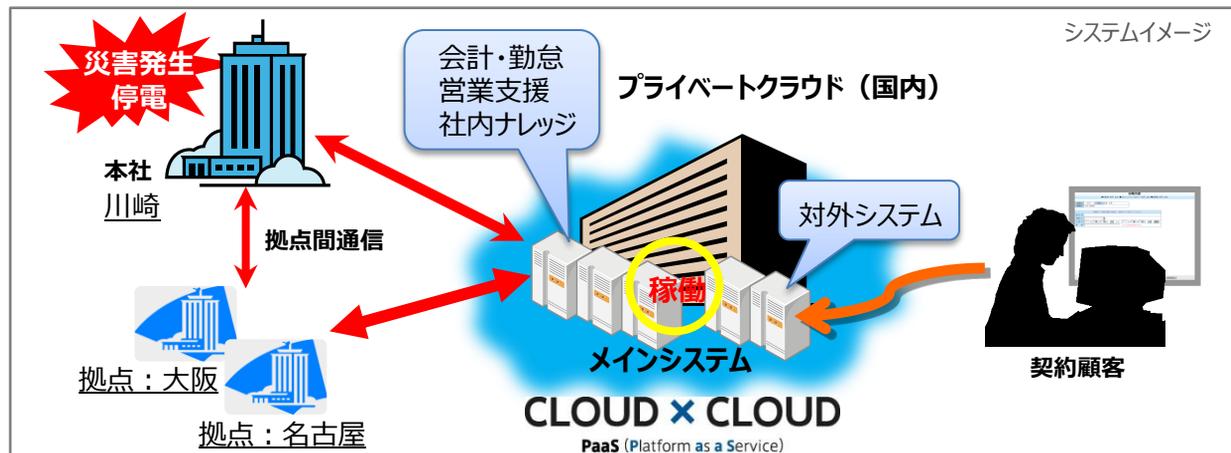


拠点の冗長化は別途多大な設備投資が必要なため、データセンター 又は クラウドへの移設を決定。複数事業者から提案を受け、選定に入り、プロジェクトメンバーでの検討の結果、「プライベートクラウド」を採用することに意思決定を行った。

導入事例を
セミナーでご紹介します[詳細]

クラウドテクノロジーを選定した理由

- ・現行資産を仮想化するための棚卸・移設方法への技術力があり、信頼性があった。
- ・移設に関してリスク保証をし、且つ無料である面も他の会社の提案ではなかった。
- ・汎用的なクラウドではなく、プライベートクラウドであったため、特有のシステム構成やネットワーク構成にも柔軟に対応してもらえた。



導入後の効果

BCP(事業継続性計画)の構築

停電や災害が発生した際にも、システムを維持できる体制を構築でき、事業継続性を確保できた。

相乗効果

クラウド対象範囲を確定させる際、現状資産の棚卸ができ、ユーザ部門に不要なDBやファイルを削除させる等、社内システムのコスト削減を実現できた。